

機械化による労働生産性向上及び人的資源の最適化



実施事業の概要と成果

当社の課題であった充填工程において新規で充填機を導入し、生産性向上の検証を図ったところ、生産リードタイムの大幅な短縮、人員削減効果による労務費の低減、使用原材料の適正化、収率の向上など全ての項目において当初の目標を達成できた。

導入前の課題

導入前の課題は充填工程における低生産性であった。充填工程は 1.印字、2.粉篩、3.仮充填、4.秤量、5.拭き上げ、6.キャッピング・シール止めの 6 工程を要し、手作業が多く人員も最低 7 名の配置が必要であった。この充填工程がボトルネックとなり工場全体の生産性低下を招き、自社製品の製造で手一杯のため、OEM にかかる新規の引合いをお断りせざるを得ず、機会損失が発生していた。

取り組みと成果

充填工程に新規で充填機を導入し検証作業を実施。生産リードタイムは従来の 3 時間を大幅に短縮し、0.5 時間での製造が実現。また、これまでの 7 名体制を 4 名まで抑えることができた。そして使用原料重量が適正である事、粒数に誤差が無い事も確認できた。管理マニュアルの作成や品質管理向上を目的としたセミナーへの出席など製造環境改善への取組も実施し、ソフト面においても自社製造能力の向上が図れた。



自社外観



GMP 認定の自社工場



当社の主力商品



教育訓練の様子

補助事業後の展開

充填機導入により充填工程のボトルネックが解消され、生産能力に余剰が生まれた。それにより対応できずにお断りしていた OEM 業務の受注が可能となり、売上の増加に繋がっている。当社の OEM 事業は、健康食品の製造を数多く手掛けてきた実績に加え、小ロットや一部工程の OEM 化など柔軟な対応、マーケットリサーチ力・提案力などの強みを発揮できしており、今後も拡大が期待できる。

With コロナ、After コロナにおける取組

以前、県産健康食品業界では、風評被害などにより売上が低下する事態が発生。当社もリスク分散を考慮した事業展開の必要性を感じていた。そこで当社ではこれまで構築したネットワークを活用し、パイン・マンゴー・車エビなどのコロナ禍でもがんばる地域特産品を取り上げるなど、一般食品分野への取組みも始めている。



代表取締役 仲程 俊和

会社概要

事業者名: 株式会社沖縄ウコン堂
代 表 者: 代表取締役 仲程 俊和
住 所: 沖縄県宜野湾市伊佐 4-4-7
資 本 金: 1,000 万円
従業員数: 40 人

電 話 番 号: 098-890-7111
FAX 番 号: 098-890-7333
設立年月日: 昭和 62 年 10 月 5 日
業 種: 食料品製造業
U R L: <https://ukondo.com/>

